

訂正

2022年11月号，連載記事「組合せ論彷徨」(山田裕史)に以下の誤りがありました．お詫びして訂正いたします．

- 71 ページ右段下から 17 行目「ギルソン」を「ギルマン」に訂正．

訂正

2023年2月号，連載記事「組合せ論彷徨」(山田裕史)に以下の誤りがありました．お詫びして訂正いたします．

- 68 ページ右段上から 1 行目

$$\begin{aligned} & \partial_1 S_{\ell_0 \dots \ell_{n-1}}(t) \\ = & \begin{vmatrix} h_{\ell_0} & h_{\ell_0-1} & \cdots & h_{\ell_0-(n-1)} & h_{\ell_0-n} \\ h_{\ell_1} & h_{\ell_1-1} & \cdots & h_{\ell_1-(n-1)} & h_{\ell_1-n} \\ \cdot & \cdot & \cdots & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdots & \cdot & \cdot \\ h_{\ell_{n-1}} & h_{\ell_{n-1}-1} & \cdots & h_{\ell_{n-1}-(n-1)} & h_{\ell_{n-1}-n} \end{vmatrix} \end{aligned}$$

を

$$\begin{aligned} & \partial_1 S_{\ell_0 \dots \ell_{n-1}}(t) \\ = & \begin{vmatrix} h_{\ell_0} & h_{\ell_0-1} & \cdots & h_{\ell_0-(n-2)} & h_{\ell_0-n} \\ h_{\ell_1} & h_{\ell_1-1} & \cdots & h_{\ell_1-(n-2)} & h_{\ell_1-n} \\ \cdot & \cdot & \cdots & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdots & \cdot & \cdot \\ h_{\ell_{n-1}} & h_{\ell_{n-1}-1} & \cdots & h_{\ell_{n-1}-(n-2)} & h_{\ell_{n-1}-n} \end{vmatrix} \end{aligned}$$

に訂正．(編集部)

訂正

2023年2月号，「エレガントな解答をもとむ [解答]」86 ページで「 $m = 7$ では総当たりによって最大枚数 $m^2 - m + 1$ を満たす組は作れないことが証明されているよう

です。」と書きましたが、 $m = 7$ は有限射影平面に関する定理から存在しないことが示され、総当たりによって存在しないことが示されているのは $m = 11$ の場合でした。ご指摘していただいた浦安市・川辺さんに感謝いたします。（この定理は参考文献で挙げたホールの教科書にあります。）（時弘哲治）